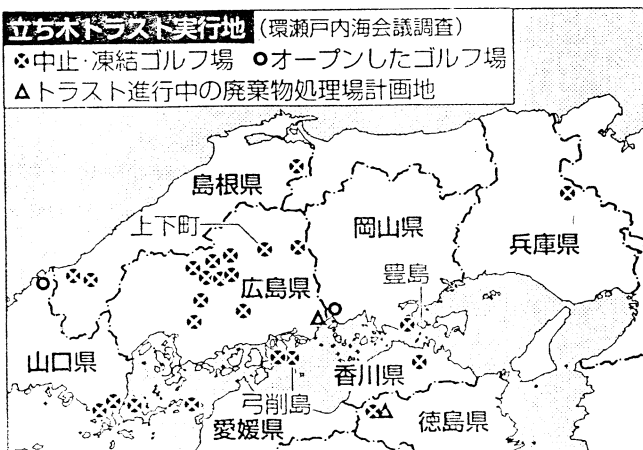


<特集・立木トラスト現地からの便り>

瀬戸内トラストから10年 オーナーのみなさんありがとう!



市島の自然と水を守る会（兵庫県）の皆さん（1998.8）



(1999年12月18日 朝日新聞)

目次

| | |
|------------------------|------|
| トラスト現地からの便り | 1~11 |
| 立木トラストの10年をふり返って(阿部悦子) | 12 |
| 瀬戸内トラスト実施状況(事務局) | 13 |
| 豊島問題は終わったのか?!(松本宣崇) | 14 |

瀬戸内トラスト 10周年

24ヶ所を
ストップ

10年という節目の年を迎えて、オーナーのみなさんに、トラスト現地からの御礼とトラストの終結をお知らせします。

「10周年おめでとうございます。」

松板川を守る会（広島県東広島市）

河野 好一

瀬戸内トラストの10周年、おめでとうございます。そして「環瀬戸内海会議」の役員および会員の皆さん、ほんとうにご苦労さまです。

さて、全国のトラストオーナーのご支援をいただきまして、約6年前に松板川トラスト運動を始めることができました。

現在の状況は、このトラスト運動を始めたことによりゴルフ場計画はストップしております。また市長、建設業者（計画業者）の意見書は不明瞭な点があるため、県は受理していないので、この広島県東広島市西条町福本、森近地区のゴルフ場建設計画は、まさに約6年前、立木トラスト運動をしたため、自然を食物にする黒い物体の動きがピタリと止まり、現在も動いていないようです。

私達“松板川を守る会”のメンバーのほとんどが兼業農家なので、ただいま新緑がまぶしい中、田植え作業の真っ最中で、きれいな山水を田に入れ、また全国のオーナーの方々の声援を受けながら、毎日がんばっています。

まだ、ゴルフ場建設計画をしている業者も撤退表明をしていないので、安心はできませんが、私達には同じ様な立場の方々や全国のオーナー、環瀬戸の人達がいるので、心強く思っております。

広島県高田郡高宮町 秋田寿郎

立木トラストのオーナーの皆さん、ありがとうございました。地域の事情もあり、立木トラストは公にはできませんでしたが、おかげさまでゴルフ場計画は中止とな



私達の“松板川を守る会”を設立して、はや6年が過ぎ、世の中も変わりゴルフ場問題→ゴミ問題に、世の中も不景気になり、山を削る元気もなくなったように思われます（自然にとっては平和な時代かも）。このゴルフ場建設反対運動では色々辛いこともありますが、これ以上に、反対運動を通して地域の団結、同じ市内の田房ダム上流のゴルフ場建設反対運動をしている方々、また自然を愛し、そして子ども達にこのきれいな環境を残そうと一生懸命戦っている多くの人達と知り会えたことが、私達の古里と同じ財産と思っております。ほんとうに全国のオーナー（約5,000人）の方々、ありがとうございます。

これからの時代も色々大変なことがあると思いますが、オーナーもどんどん多くしていき、こまった地域があれば皆で協力していこうではありませんか。私達も微力ながら応援していきます。

り、平穏な毎日です。ゴルフ場の農薬・ダイオキシンの心配をしなくて済みました。

「脅迫と土下座にも屈しなかった立木トラスト」

三和町水と命を守る会（広島県双三郡三和町）

玉井康子

平成2年9月、環瀬戸のご指導のもと、立木トラストを実施したため、お陰でゴルフ場は中止となりました。

その際、全国から立木を買って下さったオーナーの皆様重ねて心から厚くお礼申し上げます。

このトラストが実施されていなかったら……。一口に十年と申しますが、トラスト突入に際しましては、町長、議員12人全員がよる11時過ぎに押しかけて来て、「トラストは中止してくれ」と頼み、一部の議員は土下座までして頼む有様でした。次の日は「暴力団が入ってくるぞ」とおどしたり、また隣の区の人全員が「ゴルフ場の反対は止めてくれ」とせまったり、公民館長等から脅迫の電話、これから一切絶交だとか「立ち退き料1億円は出す」、また「あらゆる条件はのむ」等々、いろいろと難題を持ちかけてきました。

町の活性化のためと美句を使い、私たちを生かしてくれる命の根元である大切な自然を破壊してゴルフ場を造成しようとしたのです。

「谷間の清流、春はわらび・ぜんまい…」

生田川と自然を守る会（広島県高田郡美土里町）

日野田 晃

風薫る五月、澄み切った青空、心地よい春風が若葉をゆするこの季節、田舎出身の若者は年老いた親のもとに帰省し、トラクター・田植機の音をこだませ、連休であつという間に青田に変わる。山のきつねが現在も里に出てたまげるそうです。

平成12年5月、昔と変わらぬ優しい山々がある。

広島県高田郡美土里町北泉水谷塩貝（天神社を含め）この山麓をゴルフ場にとの動きが平成2年に起り、直下には多くの民家があり、住民はこの山の恵みを受けています。

悪夢のような戦いが続き、阿部さん、原戸さん、大勢の方の出会いによって平成5年2月立木トラストを実施、マスコミ、テレビにかけて貰い情勢は一変したように感ずる。

このゴルフ場建設を阻止するためにオーナーの皆様のお陰と、わずか十数名の強い団結、固い決意により頑張り抜くことができました。

然し、残念なことに折角ゴルフ場建設を中止させて自然を守ることができたのに、業者が買った山があるため、その山を大きな業者に売り、大型養鶏場建設を強引に造成しつつあります。これにより被害を受ける住民の反対があり、今、裁判で争っているところです。この様な問題が起こることを残念に思います。

何れにしても自然の大切さを考えない町長、一部の議員の思考能力を悲しく思っています。

以上簡単に現在までの経過を述べて、オーナーの皆様へ厚く厚くお礼申し上げ、今後ともよろしくお礼申し上げます。



くさびを打ちやあがった一の一を聞き、ホッとした涙の記憶がなつかしい。

現在は谷間の清流、春はわらび・ぜんまい、秋は茸狩り、子どもの遠足路、しいたけの原木がならば、平和の美土里町と思う。

老人会長をしている昨今、時々会合でゴルフ場ができなくて幸せだった、頑張ってくれてありがとうと言葉をかけて下さる方に出会う。

その度に「環瀬戸内海会議」の皆様、お世話心配して下さった方々の出会いをありがたく感謝の日暮しでございませう。

「NABAランドに発展した立木トラスト」

水と緑と命を守る会（広島県甲奴郡上下町）

坂永弥生

春5月・・・見渡す限り山々は新しい生命を抱き、萌葱色のコントラストをみせはじめました。今日は雲一つない快晴。霞がかかった山を見渡しています。この山々にとラストの札をかけたのは10年前になります。その日のことが昨日のことにように思い出されます。あの日も晴れていました。オーナー・環瀬戸内海会議・友人・家族やメンバーなどたくさん集い、お祭り広場のよう賑わったあの日、連日連夜の疲れも吹っ飛び、強い希望で臨みました。

トラストは私達の期待以上に効力を発揮し、さらに反対署名、住民学習会等の反対運動も拍車をかけ、1990年12月議会最終日に、ついに「上下町にゴルフ場はいらない」という表明を議会は出しました。反対運動の終結を迎えたわけです。しかし、その後も現地会社の解散まで札はかけさせていただきました。札を下ろした時、オーナーの皆さまにはお便りをしましたが、10年の節目の今、改めてお礼を申し上げたいと思います。

当たり前のように自然の恩恵を受けている私たち。その自然を破壊するのも、SOSの発信に素早く対応できるのも同じ私たち人間です。これからも感性を鍛え心を失わず、仲間と共にこの地で生きていきます。



私達の会とオーナーで豊島に行きました。

幸い、私たちはトラストオーナーや一般に呼びかけて、NABAランドというオーナー制の椎茸園をしています。

みんな仕事を持ち、しかも兼業農家であり、日々追われる毎日で、運営は困難ですが、何とか続けることができました。これも、あの時いただいたパワーと、そして昨日まで知りえるはずもなかった人たちとの太い繋がりができたからだと思っています。ゴルフ場計画は失うものよりも、決してお金で買えないすばらしい宝物を与えてくれました。

これからもずっと山々が元気でいてくれますよう、私たち自身も元気な心でいられますよう、オーナーの皆様感謝の気持ちを込めつつ、お礼の言葉にしたいと思います。

「理不尽な開発にノーと言える立木トラスト」

竹仁の水を守る会（広島県賀茂郡福富町）

田万里 正三

立木トラストオーナーの方々にはお世話になっています。賀茂郡福富町下竹仁のゴルフ場開発計画は、大阪の朝日住建KKが事業を進めていましたが、バブル崩壊後、いつの間にか撤退しました。7年間の闘いでした。

その区域の山には、その後霊園の建設計画がありましたなくなり、その次に、この区域の山を通過して広島空港への道路として、高田・東広島を結ぶ農免道の建設が計画されました。恋文字ゴルフ場開発計画のそばを通る路線として計画されたという筈でした。しかし計画は東広島市側の用地交渉と買収金の予算化が難しいとの理由でとりやめになりました。

福富町側は基点の橋梁の基礎工事を一億円かけて建設して一先ずとめています。さらに、この区域の山林に酪農家のための家畜の糞尿処理施設が計画されました。

このように、一度開発の話がもちあがったところの山林は、次々と開発の対象地となる様です。

山を金に換えたい人がいる以上、その土地には行政や企業が群がる様です。この様な人たちには立木トラストは大変効果があると思います。したがって一旦開発の対象地になったところは、半永久的に立木トラストは必要と思います。トラスト運動が始まって十年という節目です。立木トラストの真価が問われると思います。高圧的な行政に対して理不尽な開発をノーと言える立木トラスト運動を続けることは非常に大事だと思います。

「立木トラストで決定打・退散」

上小原の水と緑を守る会（広島県高田郡甲田町）
湧山敏夫

ゴルフ場建設計画反対運動である立木トラスト実施にあたり、全国からたくさんのあたたかいご支援、ありがとうございました。1992年12月、業者側はゴルフ場計画ストップの方針を打ち出しました。

「早期のトラストは業者にかなりのダメージを与える」原戸さんのこの助言を忘れずに、反対運動を展開してきたことの成果です。これも皆様のご協力の賜物と感謝しております。

どうか今後もよろしくお願いします。

ゴルフ場の建設には絶対反対です!!

《 ゴルフ場建設による悪影響 》

上小原の水と緑を守る会

- きれいな天然の水が汚染されます。
- 大気が汚染され、周辺部にも被害が及びます。
- 地下水の枯渇など水不足になります。
- 動植物の生態系の破壊・死滅。
- 土砂の流出、土石流の可能性大。
- 大事な遺跡や古墳を破壊します。
- 住民の人間関係がぐずれ、しこりを残します。
- 子々孫々までこのままの姿で残したい。

子や孫のために

水や緑を守ろう!

〈命を守る闘い=立木トラスト〉

1992. 12. 20(日)

環瀬戸内海会議
上小原の水と緑を守る会
上小原の水と緑を守る女性会

当時のニュースより



ゴルフ場絶対反対!!

上小原の水と緑を守る会会長

湧山敏夫

当地にゴルフ場計画がもち上がったのはちょうど2年前のことでした。なりをひそめたのかと思ってましたら、今年夏頃から業者や推進派の動きが急に加速し、ゴルフ場による破壊の悪夢が現実のものとしてわたしたち住民にふりかかってくる事態になりました。

「水が汚れる!緑がなくなる!命があぶない!」「このままではいけない、なんとかしてゴルフ場建設をストップしなければ・・・わがふるさとの自然を守り、子や孫たちに今の恵みをそのまま残さなければ・・・」と、思案する毎日が続いていた折、ゴルフ場に反対する同じ立場の仲間や環瀬戸内海会議の原戸さんや船木先生と出会うことができました。

そして11月25日、推進派の動きも気になり、「会社がお金をつぎ込まないうちに、取り返しがつかなくなる前に」とトラストに入ることを総会で決定しました。

環瀬戸内海会議の組織から、上小原の水と緑を守る会会員の親戚や知り合いから、遠くは北海道からも全国にわたって 総本数150本・総数84人の契約があり、とても力強く感じています。

この運動を通して多くのことを学びました。銭金には変えられない自然の大切さ・環境を守ろうとするたくさんの仲間たち・組織的に団結して闘うことの大切さ・・・などなど。だから、わたしたちは確信します。必ずゴルフ場計画を完全に撤廃させてみせると。

「立木トラストオーナーのご理解とご協力により」 こぶしの里を守る会（広島県比婆郡東城町）

吉永 博

新緑の爽やかな候となりました。

オーナーの皆さんには、益々ご健勝でお過ごしのことと拝察、お慶び申し上げます。

さて、私ども「こぶしの里を守る会」は、結成以来十周年を迎え、また、オーナーの皆さんのご協力によって、ゴルフ場をストップさせることができ、立木トラスト契約の期間も満了しますので、平成13年を以て会の解散を予定しています。



開発中止の引き金となった立木トラストを告げる看板
と白滝山（平成5年12月9日 中国新聞）

「子供たちに故郷が残せます」

子供達に自然の恵みを伝える会（広島県三次市）

中岡和己

ふって沸いたようなゴルフ場建設の問題に、地域の、思いを同じくするものが反対運動を開始したのがかなり昔のような気がします。法律の知識の無い者が、手馴れた事業者とある意味で闘うわけで、何をどうしたら良いのかいろいろ迷いました。地域内の一軒の家に暴力団風の人たちが来たと言う話もあり、不安な中での反対表明でした。

反対運動には予想通り様々な妨害が入りました。いわれのない裁判が2回も起こされたり、上司のところへ嫌がらせの電話が入ったり、その筋の人と思しきひとが尋ねて来たりと、にぎやかなことでした。当初はどうなることかと弱気になったりもしましたが、同様の運動をされている方々の励ましで、何とか今日まで来たような気がします。

思えば、東城町小奴可・森・田黒地区にまたがる450ha規模のゴルフ場を中心としたリゾート開発計画が起こったのは、平成2年の2月頃でした。以来企業の強引な働きかけと、受け入れに前向きな町、更に町内の多数をしめる賛成派に対し、自然と郷土を守ろうとゴルフ場反対運動を続けてきました。

特に、平成3年6月23日、環瀬戸内海会議の指導と協力によって、300余の立木トラストの札かけをすることができました。

当日、阿部代表には遠路はるばる現地に来ていただきましたし、県内上下町・三次市からなど多数応援に来ていただきました。これが引き金となって、それから2年余、平成5年11月、遂に企業は開発中止を申し出、前後4年にわたるゴルフ場反対の闘争は勝利しました。このことはひとえに立木トラストオーナーの皆さんのご理解とご協力によるもので、重ねて御礼を申し上げます。

当地は広島県の東北端、岡山県を経て瀬戸内海に注ぐ高梁川の上流、中国山地のまん中にあり、近くに比婆帝釈国定公園、国民宿舎、また東城には中国自動車道のインターもあります。ご来遊の機会があれば幸甚に存じます。

特に環瀬戸を中心にした立ち木トラストは、当地では地権者の協力もあり、かなり具体的な効果をあげたようです。また、トラストに協力頂いた方々一人ひとりの思いも、私たちの大きな精神的支えになりました。

現在ゴルフ場建設計画は、事業当事者が撤退し、中止に追い込まれています。ただ、土地そのものはかなりの面積が第三者に渡り、今後どのようになるのか心配がないわけではありません。が、これも注意して見守りながら、昔のままとまでは行かなくとも子供たちに故郷と言えぬ形で残せるよう努力していきたいと思えます。最後にあらためて、これまで支えて頂いた環瀬戸のみなさん、トラストにご協力頂いたみなさん、色々な智恵を与えてくださったみなさん、本当にありがとうございました。

「かけがえのない地球を子供達に」

河戸・沼田川水系を守る会（広島県賀茂郡河内町）
上杉洋民

先日は、いつもながらの情報を、お流しいいただき誠にありがとうございました。常に正義を守らんとする不動の闘魂には、只々感服するばかりです。

さて当地の実状は、現下の大勢にもより、あれ程盛んであった開発ブームも全く影さえもなく、ほんとうに静かになりました。

その流れの中で、地域住民の一般的な意識もすっかり熱が冷めて、私共の組織も解散したという訳ではないのですが、皆それぞれの日常もあり、いつとはなしに休眠状態といったところです。

しかしながら、極く近い歴史が示すごとく、権力や、これによって私欲を肥やそうとする試みは決して死滅することなく、いつの日か、その再生の時を狙っているということをわすれてはならないと思います。

そのことは、いろいろな例をあげて、機会をみては、自分なりに身近なところで周知を図っているところですが…

ご多分に漏れず「のど元過ぎれば…」の感は否めず、人心のいかけんさは実に淋しい限りです。

とは申せ、自分たち自らの自然環境を守ること、ひいては、このかけがえのない「地球」を未来に続くいとし子孫達にできるだけ無傷で残していくためには、一人一人が、根気よく頑張るしかないのだと自分に言い聞かせながらの毎日です。

「札かけした木も大きくなりました」

喜阿弥いのちと環境をまもる会（島根県益田市）
石川美智

十年前、ゴルフ場反対の声をあげてから、それまでのおだやかな日々が一転してしまいました。そして一年余り後「環瀬戸内海会議」をお願いして、反対地権者の山の木々に札かけをいたしました。新聞やテレビで取り上げられたためか、立木を次々と買ってくださいたり、カンパをしてくださる方々があつて感激したことでした。また、夜を徹して御協力お願いの手紙を書きましたところ、当時のペンクラブ会長の大岡信氏、北海道知事夫人、公害問題の権威だった宇井純氏など

最後に誠に僭越ですが、今は昔とも思える、あの激烈であつたリゾート狂奔の最中、自分なりにもだえ苦しんだ小生の胸の内のやりきれなさの一片を同封して、過ちは再びくり返してはならないと念じつつ筆を置きます。

沼田川の声(1992. 3. 8)

義憤憂士

深い緑の山々の、谷を集めたせせらぎは、はるか昔の時を経て、無言で下流の人々に、いつも変わらぬ清流を、注ぎ続けた母の川。

類い希なる大自然、生かしてこそこの土地に、まさかの不安を気にもせず、「開発」「リゾート」「活性化」、こんな言葉のまやかして、無垢な人々たぶらかし、歪な札で頬を撫で、抗する者に圧をかけ、脇目もふらぬ猿真似は、百害あつて一利なし。

自己中心の文明で、今や地球は末期ガン、お構いなしの金儲け、無理がたたるは必定で、バブルのつけがそこかしこ、昨日の威風影もなく、ぶざまな恥の店開き、悪の報いはよしとして、どうしてくれるこの気持ち、残るは破壊の痕ばかり。

同じ地域にありながら、

同じ自然の恩恵を破壊する者守る者、

今日も無言の山や川、助けを求める声がする。

有名な方々にも数多く立木オーナーになってくださり、その時のうれしさと感謝の気持ちは言葉では言い表せない程でした。そして3ヶ月後には松下興産は撤退を表明したのです。今までの夜も眠れぬ程の苦労が、あつけない早さで立木トラストの有効性が発揮されたのでした。札かけした木も大きくなりました。札に記されたお名前と共にそのご好意とご意志に対して環瀬戸内海会議の方々と共に終生忘れず感謝とお礼を心から申し上げます。今後も一本の木の命を救うために御協力の程を併せてお願い申し上げる次第です。ありがとうございました。

「農業と自然を守ったトラスト」 市島の自然と水を守る会（兵庫県氷上郡市島町） 山崎延子

1990年の立木トラスト運動が10年を経過し、まもなく終結しようとしています。当時は農業の後継者がいない状況からやむなく土地を売るところも出て、企業や利権屋が買い上げ、ゴルフ場が多く建設されていきました。

市島町でも二つ目のゴルフ場建設計画が持ち上がっている話を聞かされました。市島町有機農業研究会の生産者と都市に住む消費者団体（食品公害を追放し安全な食べ物を求める会、つどいの会、グループ90、町と村をつなぐネットワーク）は提携関係で結ばれており、私達の農業、私達の自然を守ろうと立ち上がりました。それぞれの団体が知人、友人に呼びかけ、オーナーになっていただきました。

地権者7名の山に入り、立木の一本一本に思いを込めて「私の木を切るな」「自然を大切に」等のメッセージを書いた木札を祈る思いで巻きつけました。

地権者に山の道案内をしていただく中で子ども達はよく動いて手伝ってくれたり、農村の珍しい虫や草花、蛙にも出会い、地権者との交流もできました。



また、地域でのトラスト運動を環瀬戸内海会議で集約され情報交換しながら歩み続けることができ、ゴルフ場建設計画は中止をみえています。

この運動は10年を経過した後には解散になりますが、立木トラスト運動に賛同して下さり、山を、農業を守っていただきましたオーナーの方々に心から感謝しています。

ふるさと大島の自然を愛する会（山口県大島郡久賀町） 東元義男

10年一昔と言われ、だんだん風化されつつある今日ですが、昔日を想い皆様に大変お世話になったことで、今日の平和なふるさとがあると感謝致しております。いつまでも環瀬戸内海会議のみなさまのご多幸を心よりお祈り致します。ゴルフ場計画は中止となりました。ご協力ありがとうございました。

（ふるさと大島の自然を愛する会からは、トラストニュース発行のために、124,659円のカンパをいただきました。）

伊陸の自然と水を守る会（山口県柳井市伊陸） 山近 勲

自然を愛する皆様のおかげでゴルフ場開発が止まりました。お礼申し上げます。

ふるさとの自然と文化を考える会（山口県熊毛郡平生町） 赤松義生

リゾートブームの中でトラスト運動の果たした役割は大きい。上関原発反対運動にも生かされている。自然を守るため、開発の対抗手段として今後も生かして欲しい。ゴルフ場計画は中止となりました。ご協力ありがとうございました。

山口県阿武郡田万川町

田万川町の自然と文化を守る会の藤井郁子さんは、昨春より町議として活動中。「トラスト地はずしのためオープンしたゴルフ場の今後の問題についても調査活動をし、オーナーの皆様への責任を果たしていきたい。」と語っています。ご協力ありがとうございました。

「よくそこ迄」改めて感慨を呼び起こす

直島の水と自然を守る会（香川県香川郡直島町）

那須澄雄

私達が福武書店(現ベネッセコーポレーション)によるゴルフ場開発に異を唱え立ち上がったのは、遡ること9年余り。1991年の秋でした。今振り返れば離島という閉鎖社会の中で、直島町、議会等々が一体となって開発を進める計画にももの申すとは“何というオッチョコチョイで向こう見ずの輩であったか”と再認識しているところです。しかし、このことも見方を変えれば、田舎社会にあつて自らにはね返る圧力やリスクをものもしない面々がいたからこそ、意味なき乱開発に歯止めをかけることができたと自負しています。何をばばかろう、それは「直島の水と自然を守る会」の結成以降、終始変わらぬ情熱をもって活動を支えたメンバーの存在です。中心的には男女10人足らずの“オジサンとオバサン”達ですが、多勢に無勢の中でよく頑張ったものだ感慨しています。

一方で、本件を語るに際して忘れてならない恩人達があります。その方々は、首尾一貫してご指導を賜った、阿部代表を柱とする環瀬戸のメンバーと、立木トラストに全面協力をいただいた地権者の皆さん、そしてオーナー各位です。権力を振りかざすのみで、話し合いや論議が全く通じない相手に対して、立木トラストは絶大な威力を発揮しました。このことを裏返せば、トラストを形成した関係者の力添えがなければ、これまた今ある結果に繋がらなかったことは明らかです。

私達の立木トラストは既に終結し、オーナー各位には終了のご挨拶をさせていただいていますが、ここに改めて感謝の意を表し、お礼申し上げるところです。省みますと、町当局や議会との激しい軋轢、関係組織やメンバーに対する執拗ないやがらせ、極めつけは環瀬戸集会の実施に当たって公共施設の使用を巡るトラブルがありました。この間のドラマを再現すれば不快な事の連続ですが、阻止の栄誉を勝ち取った現在の心境は“よくそこ迄”とするもので、逆にすがすがしい思いで一杯です。環瀬戸の皆さん、本当にありがとう。みんなの力で守った自然の下で、いつか再会できることを願っています。



矢原川水系の自然を守り健康で豊かな里づくりを考える会（島根県美濃郡美都町） 弥重信子

あの時代で一番よしと検討された立木トラストでとことん闘わせてもらいました。これしかなかったと思います。裁判でも、関係者の同意必要とトラスト者の権利を認めました。ゴルフ場計画は中止となりました。ご協力ありがとうございました。

花と緑と自然環境を守る会（島根県能義郡伯太町） 為国 勝

ゴルフ場計画は中止となりました。ご協力ありがとうございました。（花と緑と自然環境を守る会からは、トラストニュース発行のために、10万円のカンパをいただきました。）

どんぐり山の10年」

井上地区の将来を考える会（香川県木田郡三木町）

三木雅博

オーナーの皆様、お元気ですか。当どんぐり山のゴルフ場計画が消えて、早や10年過ぎました。

当時、現地周辺は、ゴルフ場以外にも、さまざまな開発計画が持ち上がっていました。例えば、山を削って、住宅、工場用地にする。又は、谷や池を埋めて(産廃で!)宅地を造成する等です。

ゴルフ場が消えた時、すぐに町行政は動きました。

「県主導で、内陸型工業団地を造ろう。」地権者も周辺住民も、買収費の5,000万円まで非課税とか、雇用につながるとかで、当会員も、「それならいいか」との意見が多く、非公害型企業の誘致を町長が約束したこともあって同意しました。地主も売りたい人が大半で、苦もなく賛成し、数年後から、一部トラスト地を含む80haが買収されていきました。

当地の山々は、いわゆる里山で、人工林(杉・ヒノキ林)はありません。当時、山は、燃料が薪からプロパンガスに変わった時点で放置され、30年過ぎていました

持ち主は山の管理など無関心で、開発、買い占め話は歓迎の人がほとんどでした。今でこそ、里山の見直しや、市民の整備事業などが、各地で起きていますが、当時、そんなことを考える人は皆無に近かったのです。

現在、私は自宅近くの里山3haを借り、市民参加の里山づくりを行なっています。推茸を作ったり花見をしたり、ジャングル化した山を、枯れ松を片付け、明るく花いっぱいのかつて人と共存していた里山に戻しています。(どんぐり銀行・森林ボランティアと共同作業)ビオトープにも取り組みました。(メダカとドジョウが増えて困っていますが)

三木町内の、別のゴルフ場では、やはり計画が消えた後、債権者が、30ha(9万坪)を3,000万で売ろうとしています。(買収額は数十億の物件です。国道至近・日当たり良好なのに)まだ買い手がありません。今では、山なんて誰も見向きもしない時代に、再びなったのでしょうか。時代はくり返すのでしょうか?



予定地だった里山の山桜 4月
(工業団地の造成地がみえる)



里山整備(竹の除去) 5月
この時は、60人近く参加した

「女性たちの運動として」

弓削町の自然を考える会（愛媛県越智郡弓削町）

田中 布由子・原田 好子

瀬戸内海のほぼ中央に位置する弓削町にリゾート開発の波が押し寄せてきて、足掛け12年、平穏な島と誰もが信じていたところに、堰を切ったようにゴルフ場反対の声があがりました。誘致しようとする行政側にとっては思いもよらぬ出来事だったに違いありません。島内での反対運動は集会を重ねるごとに多方面からの圧力があり、人数は減少し、女性ばかりの集まりとなってしまうました。試行錯誤の末「リゾート法を考える会」の方々との出会いがあり、運動も加速し、春一番の風が吹きました。その後まもなく環瀬戸が誕生し、立木トラスト運動が、実質的に弓削のゴルフ場予定地に札を掛けることで始まりました。

閉鎖的な島内で女性が反対運動を続けていく手段として、トラスト運動は心強い限りでした。

世論の反響は大きく、たくさんのオーナーの皆様には温かい心と、深い思いを頂いたように思います。環境に疎い生活をしてきたことを反省したものです。

行政の優柔不断な態度に怒り、5年の歳月を費やした平成7年、阪神大震災の折り、被害を受けた事業主体(株)ジャブアのゴルフ場断念の申し入れがあり、事実上ゴルフ場計画は凍結となりました。



トラスト運動の成果は推進側の動きを完全に阻止し、環境保全のみでなく、事業主の経営破綻からも救ったといっても過言ではありません。

平成12年8月をもって、弓削トラストは札を掛けはじめて満10年を迎えます。環境破壊が全国的に表面化し切羽詰まった状況にある昨今、ゴルフ場計画の浮上は皆無に等しいものと考え、全ての札を降ろす事にしたいと思います。開発の名を借り形を変えての環境破壊は、これからも島を殺していくことと思います。個人の力の限界と弱さを身にしみている私たちにとって、世論の声こそが何よりの力です。阿部悦子さんと知り合えたことで、一人一人の立場の弱い人たちの集結が世の動きとなることが可能であることを体験でき、人生の大きな財産を得る事ができました。皆さん、本当にありがとうございました。

「ミカン・イヨカントラストから10年」

ゆうきの里（愛媛県温泉郡中島町）

泉 精一

平成2年2月23日、瀬戸内海に浮かぶ中島で、トラストでは初めてのミカンやイヨカンの実のなる樹に県内を初め、全国から申し込みの「札かけ」が実施され、参加者が声高らかに「バンザイ」で氣勢を上げた。あれから十年、ついこのあいだのように思える。

風光明媚な中島にも第三セクターで、ゴルフ場・マリンスポーツ基地や貸別荘などが計画されて重点整備地区内での反対ののろしに関係者は驚き、なんとかして泉を中島から追い出す方法はないものかと協議をした程だ。世の中の変遷もあったが、何一つリゾート計画は実現を見ずに終わった。

しかし、平成三年、台風19号はこの島に激災をもたらし札かけの樹も一本残らず潮風害で枯死をし、皆さんにも多大のご迷惑をおかけしました。

農業の本命は、土地・水を守り生命の食べ物を生産する場です。私たちは有機農業の仲間とこれに徹し、更に環境を守る運動を進めてゆきます。

十年前、トラストの札かけを皆さんと共にしたことを思い浮かべ、誓いを新たにしています。

今、この中島に「ロマンレモンの島」構想を進めています。無農薬・無化学肥料、生ごみの循環農業を初めて、二十五年、最も作りにくいレモンに取り組んでいます。薬物で最も汚染されている輸入レモンの中で、安心して食べられるレモン作りこそ夢のあるトラストと感じて若者達と今後も頑張ります。

「湿原は元の静けさに」

黒沢湿原の自然を考える会（徳島県三好郡池田町）
工藤政幸



元オーナーの皆様お元気ですか。

四国の尾瀬、黒沢湿原にゴルフ場開発計画が持ち上がったのが平成2年6月。平成2年10月に立木トラスト運動を実施した。平成3年1月に池田町議会全員協議会が開催され、議会から結論集約を一任された池田町議会議長が「ゴルフ場凍結」の見解を示し全議員が了承し、ゴルフ場開発は事実上の中止となった。平成4年10月には役目を果たした立木2,000本の札下ろしをして、湿原は元の静けさになりました。

「残念ながらのゴルフ場オープン」

笠岡自然を守る会（岡山県笠岡市）
福尾恕平

瀬戸内トラストニュース第6号(92年4月発行)p8に続いて、その後を報告いたします。

平成3年10月付で委員会(地区代表10名)と会社との間にゴルフ場を取り巻く環境保全の協定書を締結した。

同協定書においては、会社の地区住民に対する損害の担保として金1億円をさし入れること(この金利は委員会に帰属)5年経過後は当事者の協議によってその扱いを決するとされている。そして、その協議義務の履行の結果、右保証金は金融機関に預託する。

ところが、平成9年4月になって会社から委員会に対し、一方的に担保の返還を求められたが、担保権の喪失につながる恐れがあるので、弁護士の指導の

黒沢湿原は7月下旬から8月上旬に咲く白いさぎ草(池田町のシンボル花)で有名ですが、5月中旬にも新緑の中に山つつじがたくさん咲き乱れてとても美しい景色になります。

現在黒沢湿原は、森林空間整備事業という国の補助金を使って、私達の会が以前より提出している黒沢湿原整備案に沿った形で町が整備を行っております。しかし土建屋がもうかるような工事をするので、私達が思っていたのとは少し掛け離れた整備となっています。ゴルフ場になっていたことを思えば、よしとしなければなりません。湿原までの進入道路も整備されて広くなりましたので、是非遊びにいらして下さい。



もと、委員会で慎重協議の末、岡山仲裁センターに仲裁申立をする。そして数回にわたる仲裁の結果、保証金は協定書通り返還、和解金百万円で損害保証金預託事件は不満足ながら、平成10年3月決着。現在に至る

終わりに各地のトラストいただいた方々にご指導、ご援助を賜りながらゴルフ場はオープンし、保証金も返還のやむなきにいたりましたことは、まことに残念ですが、私としてはベストをつくしたので悔いはありません

今後、地区住民の1人として環境保全には十分監視してまいります。

お世話になり、ありがとうございました。

立木トラストの10年をふり返って

環瀬戸内海会議代表 阿部悦子

瀬戸内の山や島に、ゴルフ場を阻止しようと、約15,000本ものオーナーの木が立ち続けて来ました。そして、札に想いを込めたこれらの木々が、たくさんの開発計画をストップさせました。全国の5,000人にもものぼるオーナーの皆さんの行動が、トラスト現地でふるさとを守る運動を続けた人々に勇気と確信を与え、トラスト運動は、たくさんの成果をあげることができました。私たち環瀬戸内海会議は、その橋渡しをする仕事をさせていただいたことを心から感謝いたします。

一 1989年、私の住む愛媛県今治市の水道水源の山にゴルフ場計画がもち上がり、当時有機農産物を購入していた農家から、「ゴルフ場を作れば水が汚れる。安全な食が守れない」との働きかけがありました。1987年には、美しかった白砂の長浜「織田が浜」の埋め立てが始まり、山も海も、未来の子供たちに残すべきものたちが姿を消し、汚染を広げる時代のあり様に、立ちすくむ思いでした。

1989年12月、「ゴルフ場とリゾート法を考える愛媛県民の会」が生まれました。愛媛瀬戸内リゾート構想のもとでのゴルフ場開発の多くは島々。そして、愛媛県弓削島でのゴルフ場反対の声を挙げる人々と出会ったのでした。瀬戸内トラストはじまりの地、弓削島の水道水源は、広島県沼田川。この沼田川には当時4ヶ所のゴルフ場がオープンし、さらに5ヶ所の計画があったのです。県境は地図上に引かれていても、空気や水・海はつながっているのです。

「瀬戸内海を毒壺にするな」の合言葉が生れ、瀬戸内周辺からゴルフ場計画に悩む住民の運動が集まりました。

1990年6月、環瀬戸内海会議は生まれました。瀬戸内周辺には、既に500ヶ所のゴルフ場がオープンしており、リゾート法でのゴルフ場計画が200ヶ所もありました。瀬戸内海は一つ。私たちは各地のゴルフ場阻止の運動から、瀬戸内海を守る運

動、上流と下流をつなぎ、生産者と消費者をつなぎ、都会と山村、島々をつなぐ運動を、「立木トラスト」を手段として進めていこうと決意したのでした。

この10年、なんと多くの人々に出会ってきたことでしょうか。山をゴルフ場から守ろうと立ちあがったたくさんの現地の人々に出会い、24のゴルフ場をオーナーの皆さんと止めることができました。各地の住民運動に光が当たるトラスト運動に関わることができた幸せを私たち環瀬戸内海会議のメンバーは共有できたと思います。しかし、2ヶ所のゴルフ場がトラストはずしのためにオープン。また瀬戸内海は、埋め立てや廃棄物の持ちこみ、海砂利採取など、「瀬戸内法」の下でも傷み続けています。

1996年総会で、私たちは豊島の運動と出会いました。住民の自治の力で、不法投棄された50万トンもの産業廃棄物と闘い、先日県の謝罪を勝ち取った豊島の人々との出会いは私たちを勇気づけ、瀬戸内海の住民としてそのあり方の原点を示されました。この豊島から撤去される廃棄物の跡地に、森をつくろうと「未来の森トラスト」が続けられています。また、産業廃棄物の最終処分場に反対して行なわれている広島県の「広瀬」「豊栄」のトラストも継続されています。

バブルに踊ったリゾート・ゴルフ場開発全盛の10年前から、今、日本列島は廃棄物という負の遺産に苦しみ、私たちの国は未だ未来を見出せずにいると言っているでしょう。

今回多くの現地がトラストに幕を閉じられました。ふるさとの山を守ろうと、長い間闘われた現地の方々に敬意を表します。現地を支え続けて下さった全国の皆さんに感謝を申し上げます。環瀬戸内海会議の今後の活動についても引き続きご理解をいただけますようお願い致します。

瀬戸内トラスト 実施状況

＜立木トラスト＞ 1990～1999.10

| | 場所 | 札かけ本数 | |
|--------|-----------|---------|-------|
| 広島県 | 加茂郡福富町 | 527 | |
| | 双三郡三和町1 | 452 | |
| | 双三郡三和町2 | 220 | |
| | 加茂郡河内町 | 472 | |
| | 甲奴郡上下町 | 301 | |
| | 三次市山家町 | 700 | |
| | 比婆郡東城町 | 325 | |
| | 高田郡美土里町 | 255 | |
| | 高田郡高宮町 | 118 | |
| | 高田郡甲田町 | 202 | |
| | 東広島市 | 72 | |
| | 山口県 | 阿武郡田万川町 | 210 |
| | | 熊毛郡平生町 | (414) |
| | | 柳井市伊陸 | 351 |
| 大島郡久賀町 | 536 | | |
| 兵庫県 | 氷上郡市島町 | (1330) | |
| 島根県 | 益田市喜阿弥町 | 579 | |
| | 美濃郡美都町 | (479) | |
| | 能義郡伯太町 | 646 | |
| 岡山県 | 新見市 | (注)(56) | |
| | 笠岡市走出 | 150 | |
| 徳島県 | 三好郡池田町 | 200 | |
| 香川県 | 木田郡三木町 | 167 | |
| | 香川郡直島町 | 540 | |
| 愛媛県 | 越智郡弓削町 | 1,453 | |
| | 越智郡弓削町佐島 | 744 | |
| | 中島みかんトラスト | 474 | |
| | [小計] | 11,973 | |

＜立木バンク＞

| | 場所 | 口数 |
|-----|----------|-------|
| 広島県 | 福山市加茂町 | 310 |
| | 東広島市 | 110 |
| 徳島県 | 三好郡池田町 | 110 |
| 香川県 | 未来の森トラスト | 680 |
| | [小計] | 1,210 |

＜豊島未来の森トラスト＞

| | 場所 | 口数 |
|-----|----------|-------|
| 香川県 | 未来の森トラスト | 1,956 |

トラスト会計 1990-1998

| | | 金額 (円) |
|--------|---------------|------------|
| 収入 | オーナーからの収入 | |
| | 立木トラスト | 20,097,400 |
| | 立木バンク | 2,618,817 |
| | 立木ボランティア | |
| | 未来の森 | 2,934,500 |
| | 一般会計から補填 | 458,194 |
| | 合計 | 26,108,911 |
| 支出 | 現地支払分(事務費含) | |
| | 立木トラスト | 11,116,100 |
| | 立木バンク | 948,000 |
| | 立木ボランティア | 460,812 |
| | 未来の森 | 1,959,250 |
| | 現地事務費 | 752,600 |
| | 小計 | 15,236,762 |
| | トラストに関する事務局経費 | |
| | トラストニュース | 4,677,118 |
| | 通信費 | 2,523,176 |
| 事務局事務費 | 3,331,055 | |
| 小計 | 10,531,349 | |
| | 立木バンク繰越 | 340,800 |
| | 合計 | 26,108,911 |

一般会計 1990-1998

| | | 金額 (円) |
|----|-----------|-----------|
| 収入 | 会費・事業収入など | |
| | カンパ | 1,058,768 |
| | 会費 | 2,392,000 |
| | 事業収入 | 670,000 |
| | 利息・その他 | 346,559 |
| | 合計 | 4,467,327 |
| 支出 | 会の活動費 | |
| | 交通費 | 1,433,159 |
| | 総会 | 690,835 |
| | その他(事業費等) | 1,047,625 |
| | トラスト会計補填分 | 458,194 |
| | 小計 | 3,629,813 |
| | 99年度繰越金 | 837,514 |
| | 合計 | 4,467,327 |

*新たに1999年9月12日、広島県豊栄町にてトラストを実施。

*1999年度の会計報告は、総会にて行います。

(注) 新見トラストは、1990年9月に札かけが予定されていましたが、直前に現地の厳しい事情により中断。1991年初めに、新見トラストオーナーには、他のトラスト地への変更をお願いし半数以上が変更、50余本分が返事がないと思われることから保管、未実施のまま現在に至っています。現在では新見のゴルフ場もストップしており、オーナーの皆様のご希望をうかがい、現金の返却又は他のトラスト地への変更など、対処させていただきます。お申し出下さいませ。不手際により対応が遅れたことをご詫びします。

豊島問題は終わったのか?!

～ 公害調停最終合意は監視と再生へのスタート ～

環瀬戸内海会議ゴミプロジェクト 松本宣崇

豊島の産廃との闘いは26年になる。90年11月の兵庫県警による産廃不法投棄の摘発からでも早10年目にはいった。そして、93年11月の公害調停申請から6年半、ようやく最終合意が成立し、最終的な解決へのスタート地点が見えてきた。

昨年8月、香川県が提案した豊島産廃の直島処理案を、今年3月直島町議会が受け入れを決議し、97年7月の中間合意を棚上げにして産廃の島外処理へと急旋回していた。直島は豊島の西方にある、非鉄大手・三菱マテリアルの企業城下町。三菱の敷地内に処理施設を建設し豊島の産廃を運び込み処理するというのが香川県の提案である。

そして残る最大の課題は、香川県が処理業者の違法操業に対し適切な指導監督を怠った責任を認め、豊島住民に謝罪することであった。最終合意では、香川県がこれまで頑なに拒否してきた「謝罪」をようやく受け入れ、公害調停が成立した。

しかし、産廃の完全撤去までには、さらに16年を要する。調停成立は最終的解決に向けてのスタート地点にすぎない。しかもこれまでの姿勢からみて、香川県は豊島住民にとって全幅の信頼関係を持てるパートナーたりうるのか。豊島住民の島の再生・自立そして「孫子に美しい豊島を残したい」という思いに、香川県はこれまでまったく応えようとしなかった。

しかも「ゴミの島」という風評被害を被り、豊島は経済的にも深刻な状況、たとえ産廃が島外撤去されても「0から」どころか「マイナスから」の再生を余儀なくされている。島の再生・自立には膨大なエネルギーと長い時間を要するだろう。島の再生・自立なくしては、豊島問題の終わりはない。そして豊島の再生・自立はひとり豊島だけの問題ではない。翻って考えてみれば、その美しい景観と豊かな漁業資源を育む環境は、他地域の住民も恩恵に浴している。加えて、豊島産廃の処理には、私たちの税金300億円が使われるのだから。

島外にあって私たちも、美しく豊かな豊島を取り戻

すために、そして豊島産廃が適正に直島に搬出され処理されるよう少しでも関わりあっていきたい。美しく豊かな豊島をそして瀬戸内海を明日に引き継ぐために。

ところで、今年も豊島では4月16日、「アースデイかがわ in 豊島」が開かれ、700人が参加した。島外参加者は初めて運行された周回バスで島内をめぐり、島の各地区を舞台に催されたイベントに参加し島の豊かな自然や文化を満喫するとともに、不法投棄現場と豊かな自然の落差を実感、環境保護の大切さをかみしめた。

そして、しめくくりの全体集会には、「汚染なきアジアへ」をテーマに、瀬戸内海をキャンペーンツアー中の国際環境保護団体・グリーンピース「虹の戦士号」船長以下スタッフが、絵本作家・田島征三さんの筆による「汚染なき未来」の横幕をもって参加し、大いに盛り上げてくれた。そして集会では、アースデイ宣言を採択し、廃棄物処理の10年を適正処理の監視と島再生の10年にしよう」と誓い合った。

摘発から10年と遅すぎるが、住民の訴えがようやく前へ動きだした。しかし道程は長い。島の再生と適正処理の監視が始まる。ぜひ一度ならず、二度三度と豊島に足を運び、豊島住民との交流・ふれあいを深め、関心を寄せ続けてもらいたい。未来の森が成長し産廃現場に緑が蘇り美しい島が取り戻される日まで。



2010年に向けて…… 監視と再生の10年へ

アースデイかがわ in 豊島実行委員会

参加者とともに「未来の森の木」を歌う

環瀬戸内海会議 第11回総会 in 東広島

～ ゴルフ場問題は終わったのか? ～

日時 6月24日(土)13:00 ～ 25日(日)13:30

6月24日無料送迎バス JR西条駅13:00出発・出発新幹線東広島駅13:00 出発

場所 総会・宿泊 国民年金健康保養センター「ひがし広島」
(住所 東広島市西条町下見1900 TEL0824-22-8211)
現地見学会 水道水源「田房ダム」とゴルフ場建設計画地
記念交流集会 正力第2集会所 (住所 東広島市八本松町正力(正力団地内))
記念講演 「ゴルフ場の環境破壊」 講師 山田國廣
主催 環瀬戸内海会議・田房ダム上流のゴルフ場建設反対協議会

参加費 当日受付で集金します。

総会1,000円 懇親会3,000円 宿泊6,000円 記念交流会500円 昼食1,000円

*国民年金被保険者の宿泊は600円の割引があります。チェックインの際、年金手帳・

保険料領収書・年金証書などを提示下さい。

*懇親会では、各地の特産物、手作り品等の持ちこみを歓迎します。東広島(西条)には自慢のお酒があります。

申込み 6月20日(火)までに下記へご連絡下さい。

環瀬戸内海会議 事務局 〒790-0812 愛媛県松山市松前町3-2-2

TEL/FAX 089-915-0968 電子メール kanseto@nifty.com

オーナー・会員の皆さん、ご協力をお願いします。

東広島市のゴルフ場計画許可、広島県知事にイエローカードを!

80年代末から90年代初め、バブル経済の絶頂期、ゴルフ場乱開発が全国に蔓延しました。市民・住民の反対運動やバブルの崩壊とともに乱開発はなりを潜めました。ところがどっこい開発計画はゼロではありません。と同時に開発に反対して市民も関わっています。

そのひとつが、今年の当会総会開催地・東広島市の「田房ダム」上流のゴルフ場建設反対協議会です。なんで今時と思われる方もいらっしゃるかも知れません。しかし広島県は3年前、開発申請をいったん許可してしまい、下流の団地に住む住民を中心に、思いつくあらゆる手段で反対運動が続けられています。残念ながら立木トラストはできませんでしたが、現地団体・協議会は住民を原告とする、工事差止めを求める仮処分申請及び本訴訟や開発許可取消を求める行政訴訟を訴え、法廷の闘いを進めてきました。

この間、開発許可の一部が失効し業者は工事ができなくなりましたが、再申請、変更申請の可能性があり、楽観できません。

そこで現地団体は藤田雄山・広島県知事に開発申請不許可を求めて、全国にイエローカードを要請しています。

微力ながら私たち環瀬戸もお手伝いしたいと思い、イエローカード(葉書)を同封させて頂きました。何年ぶりに瀬戸内トラストニュースを手にするオーナーの方もおられるかと思ひます。唐突なお願いになるかと思ひますが、ご協力をお願いします。

事務局からのお知らせ 「住民が見た瀬戸内海」出版についてのお知らせ

トラストニュース21号でご案内した「住民が見た瀬戸内海」の出版が遅れ、大変申し訳ありません。予約を希望される方は、同封の振込用紙をご利用下さい。1冊2,000円(定価)+300円(送料)です。

瀬戸内トラストニュース 第22号 2000年 6月 15日発行 / 発行責任者 前田俊英
環瀬戸内海会議 代表 阿部悦子 〒790-0812 愛媛県松山市松前町3-2-2 TEL/FAX 089-915-0968
環瀬戸内海会議 事務局長 松本宣崇 〒700-0973 岡山市下中野318-114 TEL 086-243-2927
郵便振替口座 01600-5-44750 加入者 環瀬戸内海会議
電子メール kanseto@nifty.com